

自治会があると

これだけの住民要望が実現しました

羽村団地は令和3年で築50年を迎えています。UR羽村団地自治会は2004年に設立以来今年で17年を迎えました。この17年間で自治会があることによって住民要望で実現できたことを整理してみました。住民のみなさまが自治会存在の意義を確認していただければと存じます。

毎年都市機構とURコミュニティに『要望書』を提出し話し合いを通じて住環境の整備を着実にすすめてきました

- ★防災倉庫(1基)と消火器/箱(15本)を整備
- ★各棟玄関のA4サイズのステンレス郵便受けの設置
- ★団地関係者以外の団地内立ち入り遠慮看板(32カ所)設置
- ★来客用駐車場(5~15台)の実現
- ★高齢者のための階段手すりの設置
- ★集会場に団地文化祭作品展示レールと鎖の設置
- ★各棟駐輪場に全自動LED灯を設置し夜でも施錠操作が可能になると共に防犯に役立つようになった
- ★令和3年、約20年にわたり未清掃の各棟(2~5階)の共用部階段の清掃をURコミュニティに要望し実現
- ★50年ぶりに各棟玄関入口外壁の高圧洗浄の実施で入口が明るい雰囲気を取り戻した
- ★自治会掲示板の設置・・・街路脇3カ所新設(計6カ所になる)各棟入口84カ所と集会所前1ヶ所(JSが工事を担当。掲示板は市コミュニティ助成金から)
- ★花壇用水栓蛇口(2カ所)の設置
- ★団地内街灯と各棟共用部の蛍光灯をLED化実現
- ★共益費管理で年間の芝刈り、樹木剪定・伐採で住民要望を入れ実施し日当たりの悪い部屋への採光を改善
- ★平成30年12月の民法改正による団地の修繕・改良の負担区分の改定がなされ従来80%近くの住民負担分がUR側の負担になりました。毎年このための住民相談会が都市機構・URコミュニティによって開かれ平成31年の最初の相談会に30名近くが参加し、風呂場浴槽等の無料交換などが実現その後毎年相談会が開催され要望が実現するようになりました
- ★集会場和室を50年ぶりに改装し高齢者にやさしい机(2段式)と座イスを設置し会議やサークル活動で使えるようになりました

羽村市・東京都への助成金申請で住民要望を実現

- ★羽村市には、コミュニティ助成金を申請し毎年の夏祭り、防災・防犯など自治会活動を実現しています令和2年3月にはコミュニティ助成金で自治会掲示板を各棟玄関入口85カ所に設置しました。広聴費助成で集会場を使用しています。
- ★新型コロナウイルス感染症対策の助成でマスク、石鹸、ゴミ袋を住民に配布、また空気清浄器1台を整備(都助成と合わせ2台)
- ★防災関連では2年に1回自主防災組織用資器材購入を申請し、この間①ボイラー②高圧洗浄機③灯光器④簡易トイレ(3基)⑤除雪用スコップ15本を整備
- ★東京都には、”地域の底力助成事業”に2回応募。1回目は、防災講師料の助成、スクリーンとアンプ整備、2回目は文化祭で、そば打ち体験の講師料・材料の助成と外国人居住者との交流に使う自動翻訳器2台を整備しました。新型コロナウイルス感染症対策事業でマスク、ハンドジェル、除菌シートを住民に配布。空気清浄器1台、リモート会議用にタブレット端末3台とモバイルルータ1台、アクリル板15枚と治具30組を整備
- ★羽村市福祉協議会の助成金を毎年申請し、年越しもちつき(年越し赤飯配布)芋煮会などを行って住民への福祉をすすめました

このようにUR羽村団地自治会は、団地住民のみなさまの要望実現の先頭にたって活動しています。団地住民のみなさまがこのような自治会活動にご理解いただき、未入会の場合、当自治会への加入をお待ちしています。(UR羽村団地自治会加入連絡先：042-554-4305へ、又は団地集会所入口右ポストへ、別紙入会申込書を投函ください)



JSによる掲示板の設置



空気清浄機の設置



新装なった小集会所